

中2

数学

きほん

名前 _____

式による説明

____ 月 ____ 日

れい

偶数 $2n$ 、奇数 $2n + 1$ 、3の倍数 $3n$ 、2けたの自然数 $10a + b$ … 整数を文字の式で表す。

$3n + 3 = 3(n + 1) \rightarrow n + 1$ は整数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数 … $3 \times (\text{整数})$ の形にする。

1 数を文字の式で表す

次の数を、文字を使った式で表しなさい。

- ☐ (1) n を整数とすると、5でわると2余る数
- ☐ (2) 整数 n の次の整数
- ☐ (3) n を整数とすると、3の倍数

2 説明を完成させる

次の説明の □ にあてはまる式やことばを答えなさい。

- ☐ (1) 奇数から偶数をひいた差は、奇数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕 m, n を整数とすると、奇数は ア □、偶数は イ □ と表される。

それらの差は、(ア □) - (イ □) = ウ □ = $2(m - n) + 1$

$m - n$ は整数だから、 $2(m - n) + 1$ は 奇数 である。

- ☐ (2) 連続する2つの奇数の和は、4の倍数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕 n を整数とすると、連続する2つの奇数は、 $2n + 1$ 、ア □ と表される。

それらの和は、 $(2n + 1) + (\text{ア □}) = \text{イ □} = 4(n + 1)$

$n + 1$ は整数だから、 $4(n + 1)$ は ウ □ である。

できた □ / 5問

